

## 川崎市麻生区で拾得されたフクロウ *Strix uralensis* (フクロウ目: フクロウ科) の記録 ～はるひ野里山学校の活動記録より～

原栄一\*・佐々木寿\*・堀内慈恵\*\*

A record of Ural Owl *Strix uralensis* Pallas, 1771 (Aves: Strigiformes: Strigidae) collected from Asao-ku, Kawasaki City: with the activity record of Haruhino Satoyama Gakkou

Eiichi Hara, Hisashi Sasaki and Yoshie Horiuchi

### はじめに

フクロウ *Strix uralensis* は、平地から山地の林に留鳥として生息する。近年営巣に適した樹洞のある老木の減少、採餌場所となる農耕地や疎林内の草地の消失等、生息環境の悪化がみられるため、神奈川県レッドデータブックでは「繁殖期・準絶滅危惧」に指定されている(加藤ほか, 2006)。川崎市においては、多摩区、麻生区に観察記録があり(日本野鳥の会神奈川支部編, 2013)、麻生区黒川、はるひ野に 2011 年の鳴き声の報告がある(佐野ほか, 2016)。

この度、麻生区黒川谷ツ公園において本種の 1 個体が拾得され、川崎市青少年科学館(通称: かわさき宙(そら)と緑の科学館)に資料として収蔵される運びとなった。これまで川崎市青少年科学館には本種の標本資料として、多摩区生田緑地産が 2 点、高津区下作延産が 1 点保管されているが(永井ほか, 2015)、麻生区産は初の標本資料となる。黒川谷ツ公園で活動するはるひ野里山学校の活動記録と共に経過を報告する。

### はるひ野里山学校の概要

はるひ野里山学校は、生き物の観察や里山管理作業に興味があるメンバーが集まって結成された住民のグループである。2005 年 10 月から活動を開始し、会員は 26 名(2019 年 12 月現在)である。黒川谷ツ公園において、里山の生き物が生息しやすい環境をつくるため、観察会や生き物の調査、林や草地の管理、水路や湿地の管理などを実施している。

### 活動記録

2019 年 4 月 19 日

はるひ野里山学校会員が黒川谷ツ公園西方にあるベンチ横にて鳥の死骸を発見した(図 1)。鳥は死後数日たった様子で匂いがあり、顔の周囲は干からびた感じになって

いた。死骸の近くには羽根が散乱していた。報告を受けた著者らが相談し、園内に穴を掘って埋めることとした。



図 1. フクロウ *Strix uralensis* の死骸発見  
撮影: 齋木由紀子

2019 年 4 月 21 日

発見現場に行くと、死骸は 40 メートルほど離れた場所に移動されていた(図 2)。鳥の顔が平たいことや羽の模様から、フクロウであると同定した。羽根を 1 枚サンプリングし、死骸は木の根元に埋めた(図 3)。



図 2. 埋める前のフクロウ *Strix uralensis*  
撮影: 原栄一

\*はるひ野里山学校 Haruhino Satoyama Gakkou

\*\*川崎市青少年科学館(かわさき宙(そら)と緑の科学館) Kawasaki Municipal Science Museum



図 3. 採集したフクロウ *Strix uralensis* の羽根 撮影：原栄一

2019年12月8日

約8か月後にフクロウの骨を掘り出した。掘り出しは、著者の原、堀内含めた5名で実施した。作業には、シャベル(大中小)、ふるい2個を使用した。埋めた付近の土をシャベルで掘り起こし、ふるいにかけてフクロウの骨を回収した(図4)。骨は土中に散乱しており、回収には時間がかかった。今後、埋葬する際には洗濯ネットなどの網に入れておけば、骨の取り出し時は散逸が防げると考えられる。回収できたのは、頭骨を含む一部で、持ち帰って洗浄し、別途保管していた羽根とともに川崎市青少年科学館資料として登録した。



図 4. 骨の掘り出し 撮影：小嶋浩一

## 記録

フクロウ(梟)目 Order Strigiformes  
フクロウ科 Family Strigiidae

フクロウ *Strix uralensis* Pallas, 1771

標本データ：1 ex., 晒し骨格標本・羽標本,  
川崎市麻生区はるひ野5丁目(黒川谷ツ  
公園), 20190419, KMM-AV-376.

和名および学名は、日本鳥学会編(2012)に従った。当該標本は川崎市青少年科学館に登録、保管されている。

## 謝辞

はるひ野里山学校会員の齋木義則氏、齋木由紀子氏はフクロウの死亡個体発見の情報をご連絡いただいた。同会員の村上博氏、夏目昌弘氏には、種同定にご協力いただいた。同会員の窪田迅郎氏、小嶋浩一氏、小嶋明希子氏には、フクロウの骨の採集にご協力いただいた。ここに厚く御礼申し上げる。

## 引用文献

- 加藤ゆき・浜口哲一・平田寛重・石井 隆・秋山幸也, 2006. 鳥類. 高桑正敏・勝山輝男・木場英久編, 2006. 神奈川県レッドデータブック生物調査報告書 2006. pp. 233-264, 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.
- 永井一雄・村山早紀・柳下庸子・堀内慈恵・川島逸郎, 2015. 川崎市青少年科学館所蔵鳥類標本目録. 川崎市青少年科学館紀要, (25): 39-46.
- 日本鳥学会編, 2012. 日本鳥類目録 改訂第7版. xx+438 pp. 日本鳥学会, 三田.
- 日本野鳥の会神奈川支部編, 2013. 神奈川の鳥 2006-10 -神奈川県鳥類目録VI-. 362 pp. 日本野鳥の会神奈川支部, 横浜.
- 佐野悦子・大橋 毅・瀧 孔一郎・中村 了・平賀孝政・水田茂子・森 佳子, 2016. 川崎市麻生区黒川・はるひ野の鳥類-3. 川崎市自然環境調査報告 VIII. pp. 59-71, 川崎市教育委員会・特定非営利活動法人かわさき自然調査団, 川崎.